

令和4年度 地域貢献事業活動報告書

1 事業名称	アート活動を軸にした放課後の地域ネットワークづくり
2 事業推進者等	(責任者職名・氏名) 教授・五十嵐史帆
3 学外の連携機関等	1 (連携機関等名) 新潟県立近代美術館美術館 (担当者職名・氏名) 学芸課 宮下東子 2 (連携機関等名) 新潟県酒造組合高田支部 (担当者職名・氏名) 事務局長 小林元
4 事業の趣旨・目的	放課後の児童を対象とした造形活動を中心とした居場所を提供し、上越地域の芸術文化の発展の素地となるような、地域における造形教育モデルの実践事例の開発をめざす。 さらに、大学生、地域の小学生、ボランティア等の住民が、表現活動やものづくりを通して交流することで、地域の活性化につなげ、上越市の地方創生に貢献する。
5 事業活動報告	主に以下のことを行った。 1 放課後の造形ワークショップ「ヨリ・ミチ図工室」の実施 (高田まちかど交流館) 6/15、29 7/6,20 9/7,21 10/5,26 11/2,16,30 12/7) 2 ワークショップでの子どもたちの作品展示 (「Open MUJI」9/24, 25) 3 活動報告書の発行(3/末)・配布
6 本事業で得られた成果	上越市内の高田の商店街(高田まちかど交流館)において、児童を対象に造形活動をおこなう場を提供した。事業には、4つの小学校から39名の児童が参加し、6ヶ月の期間を通して227名の児童が高田の町にきたことになった。また、「ヨリ・ミチ図工室」内での子どもたちの作品の発表と、内容紹介を兼ねた造形ワークショップを「Open MUJI」(直江津地域)で行った。高田と直江津の二つの地域で活動やその成果を発表し、上越地域の芸術文化の発展にむけ地域の中での造形教育モデルの実践事例を提示した。 また、教員養成大学の学生が、子どもたちの造形行為・活動の具体を理解し、日常の中で関わることで子ども理解を深め、教員として求められる資質能力の向上を目指すことができた。 大学生、地域の小学生、ボランティア等の住民が、表現活動やものづくりを通して交流することで、地域の活性化につなげ、上越市の地方創生に微力ながら貢献できた。
7 その他(成果物等の名称)	報告書「2020・2021・2022 ヨリ・ミチ図工室～こども・大学・まち アートでつながる活動の記録～」2023.3

※事業の実施風景を写真撮影し、本報告書と併せて提出してください。

